

令和3年3月19日

お知らせ

高 校 教 育 課	
担 当 者	神 田 ・ 藤 井
直 通 番 号	086-226-7578
内 線 番 号	4453・4452

岡山県立高等学校の校地整備方針及び学科の設置等について

このことについて、岡山県教育委員会の会議において、次のとおり決定されましたのでお知らせします。

記

1 新見高等学校

- ・令和4年度から、「総合ビジネス科」の生徒募集を停止する。
- ・令和6年度から、複数校地を解消し、南校地を活用する。
(生物生産科及び工業技術科の生徒は、令和5年度まで北校地を活用する。)
(令和6年度以降、北校地の一部は実習地として活用する。)

2 真庭高等学校

- ・令和4年度から、「普通科」の生徒募集を停止し、「経営ビジネス科」を設置する。
- ・令和4年度から、「生物生産科」及び「食品科学科」の生徒募集を停止し、「食農生産科」を設置する。
- ・令和6年度から、複数校地を解消し、落合校地を活用する。
(令和4年度以降に入学する経営ビジネス科及び食農生産科の生徒は、落合校地を活用する。)

3 笠岡商業高等学校

- ・令和4年度から、「商業科」及び「情報処理科」の生徒募集を停止し、「ビジネス情報科」を設置する。

4 勝山高等学校

- ・令和4年度から、「ビジネス科」の生徒募集を停止する。

岡山県立高等学校の校地整備方針について

対 象 校	新見高等学校
1 校地解消年度	令和6年度
2 活用する校地	南校地
3 学 科	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科 3学級 ・生物生産科 1学級 ・工業技術科 1学級 ※学級数は令和4年度の募集学級数である。
4 そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・生物生産科及び工業技術科の生徒は、令和5年度まで北校地を活用する。 ・令和6年度以降、北校地の一部は実習地として活用する。

対 象 校	真庭高等学校
1 校地解消年度	令和6年度
2 活用する校地	落合校地
3 学 科	<ul style="list-style-type: none"> ・経営ビジネス科 1学級 ・食農生産科 1学級 ・看護科 1学級 ※学級数は令和4年度の募集学級数である。
4 そ の 他	令和4年度以降に入学する経営ビジネス科及び食農生産科の生徒は、落合校地を活用する。

岡山県立高等学校の学科の設置等について

1 新見高等学校

廃止学科名	廃止年月日	生徒募集停止年度
総合ビジネス科	令和6年3月31日	令和4年度第1学年

(内容) 地元のニーズや生徒数の現状等を踏まえ、普通科・専門学科それぞれの教育機能を維持しつつ、地域の中卒者数の減少等に対応するため、総合ビジネス科の生徒募集を停止する。

(学科構成)

現 行		令和4年度	
普通科	3学級	普通科	3学級
生物生産科	1学級	生物生産科	1学級
工業技術科	1学級	工業技術科	1学級
総合ビジネス科	1学級		

2 真庭高等学校

新設学科名	設置年月日	生徒募集学級	学区
経営ビジネス科	令和4年4月1日	1学級	全県
食農生産科	令和4年4月1日	1学級	全県

廃止学科名	廃止年月日	生徒募集停止年度
普通科	令和6年3月31日	令和4年度第1学年
生物生産科	令和6年3月31日	令和4年度第1学年
食品科学科	令和6年3月31日	令和4年度第1学年

(内容) 地元のニーズや生徒数の現状等を踏まえ、地域の専門教育における拠点校としての機能を強化するため、普通科の生徒募集を停止し経営ビジネス科を設置するとともに、生物生産科と食品科学科を食農生産科に改編する。

(学科構成)

現 行		令和4年度	
普通科	2学級	経営ビジネス科	1学級
生物生産科	1学級	食農生産科	1学級
食品科学科	1学級	看護科	1学級
看護科	1学級		

3 笠岡商業高等学校

新設学科名	設置年月日	生徒募集学級	学区
ビジネス情報科	令和4年4月1日	3学級	全县

廃止学科名	廃止年月日	生徒募集停止年度
商業科	令和6年3月31日	令和4年度第1学年
情報処理科	令和6年3月31日	令和4年度第1学年

(内容) ICT(情報通信技術)を活用した商業教育をより充実させ、地域社会の持続的な発展を担う人材を育成するため、商業科と情報処理科をビジネス情報科に改編する。

(学科構成)

現 行		令和4年度	
商業科	2学級	ビジネス情報科	3学級
情報処理科	1学級		

4 勝山高等学校

廃止学科名	廃止年月日	生徒募集停止年度
ビジネス科	令和6年3月31日	令和4年度第1学年

(内容) 地元のニーズを踏まえ、地域の進学拠点校として進学機能を強化するため、ビジネス科の生徒募集を停止し、普通科単科校とする。

(学科構成)

現 行		令和4年度	
普通科	3学級	普通科	4学級
ビジネス科	1学級	普通科(蒜山校地)	1学級
普通科(蒜山校地)	1学級		

※ 学科の生徒募集定員の策定及び学科設置等に係る関係規則の改正は別途行う。

岡山県立新見高等学校の学科の廃止について

1 趣旨

本校は、南校地の普通科、北校地の生物生産科、工業技術科、総合ビジネス科からなる、新見市内唯一の県立高校であり、地域の拠点校として、普通科・専門学科それぞれの専門性を生かした人材育成を行ってきたが、近年、将来の進路に応じたより柔軟な教育課程の提供や、地域との連携・協働による教育活動の強化が求められている。

今後は普通科において、進学拠点校としての機能を充実させつつ、総合ビジネス科の学びの一部を取り込むなど、中学生や保護者の多様なニーズに応えるために単位制を最大限活用した教育課程の改編を行うとともに、地域資源の活用や地域課題の解決を目指した教育活動の更なる充実を図り、地域を支える人材の育成を目指す。

2 改編の内容

- (1) 令和4年度入学者選抜から、総合ビジネス科の生徒募集を停止する。
- (2) 令和4年度入学生の教育課程の普通科における選択科目に総合ビジネス科の情報系の学びを取り込む。
- (3) 普通科において、生徒等の多様なニーズに応える選択科目を開設し、2年次から目指す進路に対応する選択科目群をパッケージとして設定する。
- (4) 生物生産科、工業技術科は現在の教育体制を更に充実させ、地域を支える人材の育成に取り組む。

【現行】

学科等 (学級数)	普通科 (3学級)	総合ビジネス科 (1学級)	生物生産科 (1学級)	工業技術科 (1学級)
学習内容	少人数授業、グループ学習などに加え、個別指導など個に応じた学習指導による確かな学力の育成 総合的な探究の時間を活用した主権者教育の実施	簿記・会計、情報処理、ビジネスマナーなど商業の仕組みについて学習 各種資格取得のための補習も充実	作物、園芸、畜産、食品加工など農業に関する幅広い分野を学習 各種資格取得のための補習も充実	希望をもとに2年次生から電子機械コースと土木コースの2類型に分かれて授業を実施 各種資格取得のための補習も充実
進路	4年制大学、短期大学、専門学校等への進学 公務員、企業等への就職	企業、公務員等への就職 4年制大学、短期大学、専門学校等への進学	企業、公務員等への就職、4年制大学、短期大学、専門学校、農業大学校等への進学	企業、公務員等への就職、4年制大学、短期大学、専門学校等への進学



【学科改編後】

学科等 (学級数)	普通科 (3学級)	生物生産科 (1学級)	工業技術科 (1学級)
目標	普通教育を中心とした学習に自主的・主体的に取り組む、知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力の伸長により、自己の目指す進路を実現する学力と Society5.0 を生き抜くスキルを身につけ、これからの社会を創造できる人材を育成する。		
学習内容	①選択科目群をパッケージとして設定し、生徒等の多様な希望進路の実現を可能にする。 1年次：共通パッケージ 2年次：文系総合（国公立大）、文系情報（各種4大・短大・専門学校・就職）、理系総合（国公立・私立大）の3つのパッケージ 3年次：文系総合（国公立大）、文系人文（私立大）、文系情報（各種4大・短大・専門学校・就職）、理系総合（国公立理系）、理系健康（医療・看護）の5つのパッケージ ②総合ビジネス科の情報系の学びを選択科目とすることでICTを活用できる人材を育成する。（マーケティング、ネットワーク活用、ソフトウェア活用、プログラミング） ③総合的な探究の時間における主権者教育を軸とした地域貢献活動を実施する。		
取得資格等	実用英語技能検定、GTEC、日本漢字能力検定、情報処理技能検定等		
進路	・4年制大学、短期大学、専門学校等への進学 ・公務員、企業等への就職		

引き続き農業教育の充実を図る。
引き続き工業教育の充実を図る。

3 学校全体の取組

- ・総合的な探究の時間や課題研究における、地域と連携した主権者教育や交流活動の実施
- ・全国レベルの部活動 男子ソフトボール部（平成30年度 全国大会出場 ベスト16）

岡山県立真庭高等学校の学科改編について

1 趣旨

本校は、落合校地に普通科、看護科及び専攻科を、久世校地に生物生産科、食品科学科を設置する真庭市南部の高校として、それぞれ地域と連携した教育活動を展開しており、近年、地元企業等へ就職し地域を支えたいと考える生徒が増加している。また、地元自治体からの地方創生に向けた高校へのニーズや、地域農業の6次産業化への動き、既存流通形態の変化に伴い、既存の高校での学習は変化を迫られている。

今後は、これまで行ってきた地域を学びのフィールドとした活動を充実させ、地域社会の更なる健全で持続的な発展を担う人材を育成するため、新たに商業系学科及び農業系学科を設置し、生徒や地域のニーズに対応した教育活動を行うとともに、これまでの地域の担い手の育成を継承し、地域との連携を深め、地域資源を活用した学習展開を目指す。また、看護科は5年一貫の看護師養成機関として、地域医療に貢献できる人材の育成を継続する。

2 改編の内容

- (1) 令和4年度入学選抜から、普通科の生徒募集を停止し、経営ビジネス科を設置する。また、生物生産科及び食品科学科の生徒募集を停止し、食農生産科を設置する。
- (2) 食農生産科には、2年次より生産加工類型と草花環境類型を開設し、興味関心に応じた学習を行う。
- (3) 看護科及び専攻科では、引き続き5年一貫の看護教育を図る。

【現行】

学科等 (学級数)	普通科 (2学級)	生物生産科 (1学級)	食品科学科 (1学級)	看護科 (1学級)
学習内容	習熟度別、少人数授業等による確かな学力の育成に加え、総合的な探究の時間を活用した主体的思考力の育成。	2年から、希望をもとに「農業技術」「草花環境」の2類型に分かれ、より専門的な授業を体験的に学習。	食品業界の役割を理解し、安全安心な食品の製造や貯蔵、販売などを体験的に学習。	医療・看護について幅広く学習。病院や施設での実習等を通じて、看護判断能力や技術を育成。
進路	・4年制大学、短期大学、専門学校等への進学 ・公務員、企業等への就職	・企業、公務員等への就職 ・農業系大学、農業大学校、専門学校等への進学		[看護科卒業後] ・本校専攻科、看護系大学、専門学校等への進学 [専攻科修了後] ・病院等への就職

【学科改編後】

学科等 (学級数)	経営ビジネス科 (1学級)	食農生産科 (1学級)	看護科 (1学級)	
目標	商業に関する学びの中で、地域連携活動や地域資源を生かした実践的な学習を行うことで、地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成する。	グローバルな視点で地域社会を捉え、農業に関する学習を通して地域資源を活用する力を習得させるとともに、地域との連携を図り体験的交流活動を行うことにより、地域社会の持続的な発展に寄与できる人材を育成する。	引き続き5年一貫の看護教育の充実を図る	
学習内容	マーケティング分野・ビジネス情報分野を重点的に学び、「商品開発と流通」や「マーケティング」、「観光ビジネス」等の科目における地元企業等との連携を通じて、実践的な課題解決能力を身につける。 また、「情報処理」や「ソフトウェア活用」等の科目を通じて就職後に役立つコンピューターリテラシーを身につける。	農業の基礎・基本を重視するとともに、科目「地域資源活用」や「課題研究」等を通じて、地域の資源を活用して、商品開発やスマート農業を学ぶ。		
		生産加工類型		草花環境類型
		野菜の学習を中心に、生産物の保存・加工を学習する。地域資源を活用し、販売実習や、地元企業等への新商品の開発を提案する等、体験的学習を行う。		草花の学習を中心に、草花を利用した生活環境の創造を学習する。地域資源を活用し、豊かな住環境の創造や福祉活動に向けた体験的学習を行う。
取得資格等	実用英語技能検定、日本漢字能力検定、ビジネス文書実務検定 簿記検定、情報処理検定			
進路	・公務員、企業等への就職 ・4年制大学、短期大学、専門学校等への進学	・企業、公務員等への就職 ・農業系大学、農業大学校、専門学校等への進学		

3 学校全体の取組

地域をフィールドとした教育活動を展開

- ・経営ビジネス科：「課題研究」で市内生産・流通業者等と、「観光ビジネス」で市内観光業者等と連携（3年）
- ・食農生産科：「地域資源活用」でJAや地元農家と、「課題研究」で市内生産・流通業者等と連携（2・3年）
- ・看護科：「看護臨地実習」による地域医療機関との連携（1～3年及び専攻科）

岡山県立笠岡商業高等学校の学科改編について

1 趣旨

本校は、県内の商業高校の中でも2番目に古い高校として、自主自立の精神を尊び、地元からの信頼のもと、就職や進学の両方に対応できる教育活動を展開してきた。近年、変化の激しい社会の中で、中学校を含めた地域からの多様なニーズに、更なるきめ細やかさをもって対応できる高校であることが求められている。

今後は、Society5.0の社会を見据え、ICT（情報通信技術）の活用による、更なる情報収集能力、分析能力、発信能力等の習得に加え、地域と連携し地域資源を活用した教育活動を行うことで、身に付けさせたい5つの力（つながる力、考える力、創造する力、地域を愛する力（心）、人のために動ける力）を備えた、地域の持続的な発展を担う人材を育成する学校を目指す。

2 改編の内容

令和4年度入学者選抜から、商業科及び情報処理科の生徒募集を停止し、ビジネス情報科を設置する。

【現行】

学科等 (学級数)	商 業 科 (2学級)	情 報 処 理 科 (1学級)
学習 内容	経済や流通・販売に関する知識・技能を習得し、進路実現や資格取得に挑戦する。	コンピュータ・ネットワークに関する知識・技能を習得し、進路実現や資格取得に挑戦する。
進路	4年制大学、短期大学、専門学校（看護系を含む）、就職（企業、公務員）	



【学科改編後】

学科等 (学級数)	ビ ジ ネ ス 情 報 科 (3学級)
目 標	<ul style="list-style-type: none"> • これからのビジネスに不可欠なICT（情報通信技術）の活用を通して、ビジネスに求められるマーケティング、マネジメント、会計、ビジネス情報の各分野に関する学習を深める。 • 各教科や総合的な探究の時間において、多様な情報を取り扱う中で、地域の魅力を感じるとともにビジネスの課題と向き合い、課題解決に向けた地域との連携による実践的な活動やICTの活用を行うことにより、情報を適切に利用し管理する力や企画力、コミュニケーション力の育成を図り、地域のビジネスリーダーや職場のITリーダーとして活躍できる人材を育成する。
学 習 内 容	<p>1学年では、全員共通の科目を履修し、情報を含めた商業に関する基礎的な力を育成する。2学年以降は、生徒の興味関心に応じて科目を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全員履修：「財務会計Ⅰ」、「原価計算」、「総合実践」、「課題研究」、「ネットワーク活用」等 • 選択履修：「商品開発と流通」、「観光ビジネス」、「ソフトウェア活用」、「ビジネス・マネジメント」等 <p>【特色ある教育内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報社会への対応 <ul style="list-style-type: none"> • RESAS等を活用したデータサイエンスの学習（情報コミュニケーション） • 電子開示システム「EDINET」等での企業研究（財務会計Ⅰ） • マクロ言語を使った簡易システムの作成（ソフトウェア活用） • ソフトウェア「EC-CUBE」を活用した模擬取引（ネットワーク活用） • ビッグデータを活用した課題発見・探究活動（マーケティング、課題研究） • Word・Excel・画像編集ソフト等を活用したポスター制作や学校のPR動画作成、プログラム開発、地元企業のWebページの制作等及び各種コンテストへの参加（課題研究） ○ 地域との協働 <ul style="list-style-type: none"> ～ かさおか教育DMO、かさおかブランド協議会、JC笠岡青年会議所等との連携 ～ • 地元特産物を用いた商品開発（商品開発と流通） • 地域の産業や名所を巡る観光ツアー（観光ビジネス、課題研究） • 地元経営者等による、各種ビジネスの現状と課題の講話（ビジネスマネジメント、総合実践） • 幼稚園児へのパソコン教室や小学生へのプログラミング教育の支援（プログラミング）
取 得 資 格 等	<ul style="list-style-type: none"> • 全商検定（簿記・情報処理・ビジネス文書・商業経済・珠算電卓・英語・会計実務） • 日商簿記、日商珠算、販売士、秘書実務、ITパスポート、基本情報技術者試験等
進 路	• 国公立大学、私立大学、短期大学、専門学校（看護系を含む）、就職（企業、公務員）

3 学校全体の取組

- 全国レベルの部活動（ダンス部、コンピュータ部、珠算部、簿記部、ワープロ部）
- 笠レンジャー：笠商の魅力を伝えるメッセンジャー（オープンスクール、学校説明会等）
- ボランティア活動（笠岡駅前イルミネーション制作、中学校への出前授業、地域の祭り、読み聞かせ等）

岡山県立勝山高等学校の学科の廃止について

1 趣旨

本校は、百有余年の歴史を誇る伝統校として、上級学校への進学や地域産業を支える人材育成のニーズに応じてきた。一方、蒜山校地は、地域に根ざし地域を支える人材育成を担う学校として、旧蒜山高等学校から数えて70年以上の歴史を有する。近年の少子化をはじめとする真庭地域の社会構造の変化に伴い、本校には、地域の進学拠点校としての役割を一層強化することが、蒜山校地には、持続可能な地域社会を構成・発展させる人材を育成することが、それぞれ求められている。

今後は、こうしたニーズに応えるため、普通科単科校に改編し、単位制課程を導入することで、進路志望が多様化する生徒に対応したきめ細かなカリキュラムを編成し、生徒一人一人の進路希望にきめ細かく対応できる授業を展開する。また、“Think globally, Act locally”の視点に立ち、社会の様々な課題について理解を深め、持続発展可能な社会の実現に資する人材の育成を図る。

2 改編の内容

- (1) 令和4年度入学選抜から、ビジネス科の生徒募集を停止し、普通科単科校とする。
- (2) 個々の生徒の学力・進路希望に応じた柔軟な教育課程を編成するため、単位制課程に改編する。

【現行】

学科等 (学級数)	普通科 (3学級)	ビジネス科 (1学級)	普通科(蒜山校地) (1学級)
学習 内容	進路に合わせて、文系、理系に分かれての授業を実施	実践的な専門科目、充実した体験授業やインターンシップの実施	多様なコース・科目選択での学習、体験的な学習を実施
進路	国公立大学、私立大学、短期大学、専門学校、就職	4年制大学、短期大学、専門学校、就職(公務員、企業)	4年制大学、短期大学、専門学校、就職



【学科改編後】

学科等 (学級数)	普通科 (4学級)	普通科(蒜山校地) (1学級)
目標	地域の進学拠点校として、生徒一人一人の学力・進路希望に応じた学習を通じて資質・能力を伸ばし、将来、各方面で活躍し、持続発展可能な社会を牽引する人材を育成する。	多様な生徒の進路希望へ対応し、地域と連携した体験的・探究的な学習を通じて、持続発展可能な社会の実現に寄与できる人材を育成する。
学習 内容	学習進度に応じた習熟度別授業や、生徒一人一人の興味・関心、進路希望に応じた多様な科目等の設定 【特別進学系】 ・難関大学進学へ対応した少人数授業 ・ハイレベルな学力を養成する充実した個別支援体制 【文理進学系】 ・大学入学共通テストに対応した授業展開 ・国公立大学文系・理系に対応した選択科目 【総合進学系】 ・得意分野をさらに伸ばすための選択科目 ・芸術、体育、家庭系などの専門科目 【教員養成プログラム】 高校段階から、教員に必要な資質能力を体験的に習得 ・演劇の手法を用いたロールプレイや模擬授業(表現実践) ・県総合教育センターでの講義や岡山大学教育学部と連携した探究活動(総合的な探究の時間) ・学習支援ボランティア(放課後児童クラブ、サマースクール、真庭学習塾等)	・生徒一人一人の能力、適性、興味・関心、進路希望に応じた多様な科目の設定 ・主体的、対話的で深い学び、体験的・探究的な学習を重視する授業の展開 ・地域連携型教育の充実 【特色ある科目】 ・「スポーツVI」 小学校のキャンプ実習の補助等、小・中・高を接続する活動を展開 ・「プレゼン基礎」「プレゼン実践」 効果的なプレゼンテーションの技法等を、社会人講師を活用しながら体験的に習得
取得 資格等	実用英語技能検定、日本漢字能力検定(準1級、2級)等 【遠隔教育システムを活用した活動】 遠隔授業による多様な授業展開、岡山大学等の外部機関と連携した特別講義等	実用英語技能検定、実用数学技能検定
進路	・難関大学をはじめとする4年制大学、短期大学、専門学校への進学 ・公務員等への就職	・4年制大学、短期大学、専門学校への進学 ・公務員、企業等への就職

3 学校全体の取組

- (1) ICTを活用した学習
Chromebookでの授業展開や、学習アプリ「スタディサプリ」の活用による、個に応じた学力の伸長
- (2) 地域と連携した教育
 - ・夢現プロジェクト(総合的な探究の時間)による、地域の課題探究学習〔普通科〕
 - ・学校設定教科「蒜山」による、地元企業等への提案型インターンシップや社会人講座〔普通科(蒜山校地)〕